

公益財団法人 日本サッカー協会
2021年度 第7回理事会

日 時：2021年6月17日

報告事項

1. 第16回FIFAカOUNシル会議（5月20日開催）の件

第16回FIFAカOUNシル会議が5月20日（木）、オンライン上で行われた。主な決定・報告事項は以下の通り。

- (1) FIFA フットボールステークホルダー委員会が登録制度改革の一環として決定した「第三のリフォームパッケージ」を承認した。主な内容は以下の通り。
 - ① 未成年選手の国際移籍に関する例外やその他規則の検討
 - ② 期限付き移籍に関する新ルールの施行（期限付移籍で登録させる選手／する選手数の上限設定）
 - ③ 登録ウインドーやシーズンの定義
 - ④ 財務ガバナンスに関するガイドライン策定
- (2) インターナショナルマッチカレンダーについて、以下を含む大会日程を承認した。
 - ① FIFA 女子ワールドカップオーストラリア&ニュージーランド 2023™（2023年7月20日～8月20日）
 - ② FIFA 女子ワールドカップオーストラリア&ニュージーランド 2023™プレーオフ（2023年2月17日～2月23日）
 - ③ FIFA U-17 女子ワールドカップインド 2022™（2022年10月11日～10月30日）
 - ④ FIFA U-20 女子ワールドカップコスタリカ 2022™（2022年8月10日～8月28日）
- (3) FIFA 女子ワールドカップオーストラリア&ニュージーランド 2023™のための子会社の設立を承認した。（オーストラリア、支店ニュージーランド）
- (4) FIFA ワールドカップ 2026™のための子会社設立を承認した。（カナダ、メキシコ、アメリカ）

2. 第71回FIFA総会（5月21日開催）の件

第71回FIFA総会が5月21日（金）にオンライン上で行われた。主な決定・報告事項は以下の通り。

- (1) FIFA 規約の修正を承認した。主な変更は以下の通り。
 - ① FIFA 女子ワールドカップ開催地の決定権を女子サッカーの重要度の高まり等を踏まえ、男子に合わせFIFAカOUNシルではなく総会決議へと変更。
 - ② ガバナンス委員会と監査コンプライアンス委員会を統合し、「ガバナンス、監査及びコンプライアンス委員会」とする。
 - ③ 紛争解決機関としてフットボール裁判所(Football Tribunal)の設置。
 - ④ 仲介人(Intermediary)をFootball Agentに変更し、エージェントのFIFAライセンス保有義務を明記。
- (2) 加盟協会からの下記の提案を承認した。
 - ① ジャマイカサッカー連盟：グローバルな女子サッカー競技会コンセプトをFIFA事務局にて策定。
 - ② サウジアラビアサッカー連盟：FIFA ワールドカップおよび FIFA 女子ワールドカップを

隔年開催とすることの実行可能性調査（feasibility study）の依頼。

- ③ リベリアサッカー協会：FIFA 事務局において、FIFA ユース年代競技会の今後の発展に向けた検討、提案を行う。

(3) FIFA 独立委員会の選挙が行われ、下記の委員長、委員長代理ほか委員が選出された。

① 規律委員会

Jorge Palacio 委員長、Anin Yeboah 委員長代理

② 倫理委員会 調査室

Martin Ngoga 委員長、Bruno De Vita 委員長代理、Parasuraman Subramanian 委員長代理

③ 倫理委員会 裁定室

Vassilios Skouris 委員長、Maria Claudia Rojas 委員長代理、Fiti Sunia 委員長代理

④ 不服申立委員会

Neil Eggleston 委員長、Thomas Bodstrom 委員長代理

⑤ ガバナンス、監査及びコンプライアンス委員会

Mukul Mudgal 委員長、Chris Mihm 委員長代理

※JFA 三好豊法務委員長が委員に選出

(4) 2020 年連結財務諸表、2022 年詳細予算を承認した。

3. 国際協力機構（JICA）、Jリーグ、WE リーグとのパートナーシップに関する覚書更新の件

JFA と Jリーグ、独立行政法人国際協力機構（JICA）における国際的なサッカー交流および協働事業に関する協定書に WE リーグを加え、6 月 9 日に再締結した。

JICA は日本の政府開発援助の実施機関として、開発途上にある海外の地域の経済の安定と社会の開発、復興に寄与することによって国際協力の促進と我が国および国際社会の健全な発展に資することを目的に、技術協力の実施、専門家の派遣、研修員の受入れ、ボランティアの派遣その他の事業を実施し、全ての人々が恩恵を受けることのできる開発に取り組んでいる。

近年、特にアジア各国との間で選手や指導者、各国サッカー協会、各国リーグとの交流が盛んに行われている。この関係をより強固にし、それをアジア、そして世界へと広げていくべく、JICA と連携して国際交流事業を促進させることを目指す。

本件における協定書の概要と今後の事業予定は以下の通り。

■提携の背景

開発途上地域において、スポーツを通じた健全な人材の育成や健康増進、難民、女性、障がい者など弱い立場に置かれた人々の社会参画の促進と地域振興などのニーズが高まっている。また、スポーツは持続可能な開発目標（SDGs）達成のためにも重要な鍵とされている。

2021 年には東京オリンピック・パラリンピックの開催も控えていることから、日本は世界各国とスポーツを通じた国際協力を深化させていく必要がある。さらに、2020 年 3 月以降の新型コロナウイルス感染拡大により世界の状況が一変した中、スポーツが人々の健康維持・増進に欠かせないものであるとともに、スポーツが人々に勇気や希望を与え、離れ離れとなった人々や社会を再び結びつけるなど「ウィズ・コロナ」「ポスト・コロナ」においてスポーツは非常に重要なファクターとなる。以上の背景を踏まえ、各当事者は、相互に有益な連携関係を構築する。

■期間

2021年6月9日から2025年3月31日まで

■主な連携の対象

1. 開発途上地域におけるサッカーを通じた健全な人材育成、健康増進・維持、女性や障がい者等の社会参画促進、地域開発・振興、および災害復興・平和構築に関すること。
2. 開発途上地域におけるサッカーを通じた国際協力に関すること。
 - ① 開発途上地域への日本人指導者の派遣及び同地域からのサッカー選手、コーチ、審判、マネジメント関係者等の受入を通じた人材の育成および制度、仕組み等の整備に関すること。
 - ② 開発途上国に派遣されるボランティア等に対する技術的な支援・助言に関すること。
 - ③ 2021年の東京オリンピック・パラリンピックに関連したスポーツを通じた国際協力に関すること。
3. 国際キャリア総合情報サイト「PARTNER」等を通じた、前各号に必要な国際協力人材の養成・確保に関すること。
4. JリーグおよびWEリーグとJICA国内機関との地域連携に関すること。
5. 開発途上地域における国際サッカー大会運営に関すること。
6. 前各号に関連する国内外への啓発・広報に関すること。
7. 前各号に掲げるもののほか各当事者が合意する事項

4. 2020年度スポーツ団体ガバナンスコード・適合性審査結果の通知の件

昨年度実施された「2020年度スポーツ団体ガバナンスコード適合性審査」について、下記内容の通り、審査結果の通知があったため報告する。

<評価結果概要>

審査全体結果 : 適合

審査所見 : 下記審査項目が「好事例」として特に高い評価

- 審査項目1（中期計画の策定・公表）
- 審査項目20（コンプライアンス委員会の設置・運営）
- 審査項目22（役職員向けコンプライアンス教育の実施）
- 審査項目42、43（地方組織運営の充実にに向けた指導・助言・支援等）

備考 : 適合性審査は4年毎に実施されるため、次回の審査は2024年度を想定。
ガバナンスコードの適合状況については、毎年自己説明の作成および公表が必要。

5. JFA 地域ガールズ・エイト (U-12) サッカー大会 トレセン事業への移行の件

2022年度より、JFA 地域ガールズ・エイト (U-12) サッカー大会をトレセン事業に移行する。これに伴う変更は以下の通り。

【事業区分】

現行：大会

移行後：トレセン

【担当委員会】

現行：競技会委員会 第4種大会部会

移行後：技術委員会/女子委員会

【担当部署】

現行：競技運営部

移行後：強化育成部

【参加チーム数】

現行：108 ※4種登録を完了した小学6年生の女子選手を対象とする。

移行後：67 ※年間を通してトレセン活動をしている小学6年生の女子選手を対象とする。

(要：4種登録)

6. JFA サッカー施設整備助成事業の件

「JFA サッカー施設整備助成金 交付要項」に基づき、助成金交付要望のあった次の案件について審査し、助成金の交付を決定した。

[申請概要]

1. 宮城県

- 1) 申請者：宮城県サッカー協会
- 2) 申請区分：[助成区分 3]施設改修助成事業
- 3) 助成対象事業：人工芝(改修)
- 4) 施設名：松島フットボールセンター
- 5) 総事業費：59,728千円
- 6) 助成金申請額：29,864千円
- 7) 工期期間：2021年3月～2021年4月
- 8) 交付決定日：2021年4月23日

2. 長崎県

- 1) 申請者：長崎県南島原市
- 2) 申請区分：[助成区分 2]地区サッカー施設整備助成事業
- 3) 助成対象事業：人工芝(新設)
- 4) 施設名：南島原市多目的運動広場(仮称)
- 5) 総事業費：284,185千円
- 6) 助成金申請額：35,000千円
- 7) 完了時期：2022年3月31日(予定)
- 8) 交付決定日：2021年4月1日

3. 富山県

- 1) 申請者：富山県射水市
- 2) 申請区分：[助成区分 1]都道府県フットボールセンター整備助成事業
- 3) 助成対象事業：人工芝(新設)、夜間照明(新設)
- 4) 施設名：(仮称)射水市フットボールセンター
- 5) 総事業費：1,593,383千円
- 6) 助成金申請額：60,000千円
- 7) 完了時期：2022年3月31日(予定)
- 8) 交付決定日：2021年4月28日

4. 神奈川県

- 1) 申請者：神奈川県南足柄市
- 2) 申請区分：[助成区分 2]地区サッカー施設整備助成事業
- 3) 助成対象事業：人工芝(改修)
- 4) 施設名：南足柄体育センター・グラウンド
- 5) 総事業費：189,574 千円
- 6) 助成金申請額：45,000 千円
- 7) 完了時期：2022 年 3 月 31 日(予定)
- 8) 交付決定日：2021 年 4 月 28 日

5. 宮城県

- 1) 申請者：宮城県松島町
- 2) 申請区分：[助成区分 2]地区サッカー施設整備助成事業
- 3) 助成対象事業：夜間照明(新設)
- 4) 施設名：松島町民グラウンド
- 5) 総事業費：16,500 千円
- 6) 助成金申請額：8,250 千円
- 7) 完了時期：2022 年 3 月 31 日(予定)
- 8) 交付決定日：2021 年 5 月 14 日

7. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認(更新)の件

【更新】

申請者(施設所有者)：東京都

施設名：駒沢オリンピック公園総合運動場 第二球技場(東京都世田谷区駒沢公園 1-1)

使用製品：積水樹脂株式会社 ドリームターフ PT2055RS+U ACS70

公認期間：2021 年 6 月 17 日～2024 年 6 月 16 日

公認番号：第 014 号

申請者(施設所有者)：一般社団法人宮城県サッカー協会

施設名：松島フットボールセンター(宮城県宮城郡松島町手樽字大蓬沢 13-1)

使用製品：アイリスオーヤマ株式会社 GEO-TURF BS BS350-60GF

公認期間：2021 年 6 月 17 日～2024 年 6 月 16 日

公認番号：第 098 号

申請者(施設所有者)：一般社団法人大阪府サッカー協会

施設名：OFA 万博フットボールセンター Bコート(大阪府吹田市千里万博公園 3-5)

使用製品：住友ゴム工業株式会社 ハイブリッドターフ EXII-55T

公認期間：2021 年 6 月 17 日～2024 年 6 月 16 日

公認番号：第 198 号

<特記事項>

使用製品は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査(ラボテスト)を完了している。

当該施設は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、基準を満たしている。

8. JFA ロングパイル人工芝ピッチ公認（新規）の件

【新規】

申請者（施設所有者）：公益財団法人愛知県サッカー協会

施設名：愛知県フットボールセンター知多（愛知県知多市緑町 12-4）

使用製品：MCC スポーツ株式会社 アストロピッチ SL αN-55

公認期間：2021 年 6 月 17 日～2024 年 6 月 16 日

公認番号：第 253 号

<特記事項>

使用製品は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく製品検査（ラボテスト）を完了している。

当該施設は JFA ロングパイル人工芝公認規程に基づく現地検査（フィールドテスト）を実施し、基準を満たしている。

9. JFA・Jリーグ特別指定選手制度の件

(1) 選手名：早坂 勇希（はやさか ゆうき）

所属チーム：桐蔭横浜大学サッカー部

受入先：川崎フロンターレ

所属歴：ウィンズフットボールクラブ

川崎フロンターレU-12

川崎フロンターレU-15

川崎フロンターレU-18

認定日：2021 年 4 月 28 日

(2) 選手名：佐藤 大樹（さとう だいき）

所属チーム：法政大学体育会サッカー部

受入先：FC 町田ゼルビア

所属歴：クラブフィールズU12

コンサドーレ札幌U-15

北海道コンサドーレ札幌U-18

認定日：2021 年 4 月 28 日

(3) 選手名：後藤田 亘輝（ごとうだ こうき）

所属チーム：青山学院大学体育会サッカー部

受入先：水戸ホーリーホック

所属歴：バディーサッカークラブ

横浜F・マリノスジュニアユース追浜

群馬育英学園私立前橋育英高等学校

認定日：2021 年 4 月 28 日

(4)選手名：孫 大河（そん たいが）

所属チーム：立正大学体育会サッカー部

受入先：サガン鳥栖

所属歴：松原サッカークラブ

FCトリプレッタ渋谷ジュニア

FCトリプレッタ Jr ユース

正智深谷高等学校

認定日：2021年5月11日

(5)選手名：田中 和樹（たなか かずき）

所属チーム：法政大学体育会サッカー部

受入先：京都サンガF.C.

所属歴：パルサッカークラブ

ヴェルディサッカースクール小山

浦和学院高等学校

認定日：2021年5月18日

(6)選手名：シマブク カズヨシ（しまぶく かずよし）

所属チーム：新潟医療福祉大学サッカー部

受入先：アルビレックス新潟

所属歴：新宿サッカースポーツ少年団

NPO法人東松山ペレーニアFC ジュニア

浦和レッドダイヤモンドジュニアユース

浦和レッドダイヤモンドユース

認定日：2021年5月25日

(7)選手名：岡庭 愁人（おかにわ しゅうと）

所属チーム：明治大学体育会サッカー部

受入先：FC東京

所属歴：レジスタFC

FC東京U-15 深川

FC東京U-18

認定日：2021年6月1日

10. なでしこジャパン海外強化指定選手制度の件

「なでしこジャパン海外強化指定選手」3名（継続1名、新規2名）を下記の通り認定した。

※2021年度は東京オリンピック終了月である8月までが制度の有効期限。

①【継続】 靱木結花

(1)選手プロフィール

氏名：靱木 結花（もみき ゆうか） / 25歳

所属チーム：OL Reign（NWSL・アメリカ女子1部リーグ）

ポジション：MF

国際 A マッチ出場数：35 試合 12 得点

(2) 認定期間 2021 シーズン（契約期間：2020 年 5 月 18 日～2022 年 12 月 31 日）

②【新規】宝田沙織

(1) 選手プロフィール

氏 名：宝田 沙織（たからだ さおり） / 21 歳

所属チーム：Washington Spirit（NWSL・アメリカ女子 1 部リーグ）

ポジション：DF

国際 A マッチ出場数：5 試合 0 得点

(2) 認定期間 2021 シーズン（契約期間：2021 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 21 日）

③【新規】林穂之香

(1) 選手プロフィール

氏 名：林 穂之香（はやし ほのか） / 22 歳

所属チーム：AIK Fotboll AB（ダームアルスヴェンスカン/スウェーデン女子 1 部リーグ）

ポジション：MF

国際 A マッチ出場数：3 試合 0 得点

(2) 認定期間 2021 シーズン（契約期間：2021 年 1 月 1 日～2022 年 12 月 31 日）

※キャップ数は 2021 年 4 月 30 日時点のものとする

11. サッカー競技規則第 3 条暫定的改正の再延長についての通達文発信の件

（報告）資料 1

サッカー競技規則について、2021 年 5 月 28 日に国際サッカー評議会（以下、IFAB）から「第 3 条の暫定的改正の更なる延長」の通達があった。

本通達は、IFAB から 2020 年 12 月 18 日付けで通達された「第 3 条—競技者：暫定的改正の延長」（本協会より 2021 年 1 月 14 日付け日サ協発第 210002 号にて発信）によって、適用の期間を 2021 年 12 月 31 日前に終了予定の競技会から再度延長して 2022 年 12 月 31 日までに終了を予定している競技会においても適用できるとした。

については、別紙の通り、JFA として関係各所に通達を発信した。

12. 審判員海外派遣の件

以下の通り審判員・大会役員を国際試合に派遣する。

<審判員>

（大会）

①2022 FIFA World Cup Qatar™ Preliminary Competition Asian Zone Round 2 - Group B

大会期間：6 月 3 日～6 月 15 日

場所：クウェート/クウェートシティ

審判員：飯田淳平・野村修・武部陽介

②2022 FIFA World Cup Qatar™ Preliminary Competition Asian Zone Round 2 - Group C

大会期間：6月3日～6月15日

場所：バーレーン

審判員：木村博之・武部巧・西橋勲

③2022 FIFA World Cup Qatar™ Preliminary Competition Asian Zone Round 2 - Group G

大会期間：6月3日～6月15日

場所：UAE/ドバイ

審判員：佐藤隆治・山内宏志・三原純

13. 名義使用申請の件

申請団体：復興庁

イベント名：子どもサッカー復興五輪

開催目的：東京オリンピック・パラリンピックの開催に先立ち、被災地の子どもたちを対象にサッカーイベントを行うとともに、復興学習、被災地産食材の食体験を行うことにより、“復興五輪”の機運醸成のほか、子どもたちの復興への理解増進、被災地の魅力発信を図る。

主催：復興庁

後援：公益財団法人日本サッカー協会

開催日：令和3年7月4日（日）

会場：宮城スタジアム及び同スタジアム隣接補助競技場
（*雨天時は利府町立菅谷台小学校）